

2025年度	学科・ コース	■IT スペシャリスト □情報メディア □医療秘書		□ビ実 □デザイン	
前期					
授業科目名	情報技術概論 A- I			教員名	吉岡 忍
対象学年	1	授業数	2/週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	ストラテジ（企業の情報システム戦略やIT 戦略）、及び、データベースに関する理解を深め、将来的に多方面で活躍できるIT エンジニアになるための基礎を身につける。さらに、資格試験の対策を通じてビジネスパーソンに欠かせない読解力を鍛える。				
2 . 科 目 の 到達目標	① IPA 認定講座である本講座を受講し、基本情報技術者試験の知識を習得し、IPA の提供する修了試験（基本情報技術者試験の科目 A 試験免除）合格を目指す ② 情報活用試験 3 級合格				
3. 科目の内容 （各週毎）	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	企業と経営戦略① 企業と経営戦略② システム戦略① ビジネスインダストリ 法務と標準化① ユーザインタフェース データベース基礎① データベース基礎② 業務分析・データ利活用① 模擬試験（情報活用試験 3 級） 模擬試験（情報活用試験 3 級） 企業会計基礎 アローダイアグラム基礎 デシジョンテーブル基礎 期末試験・期末課題提出（授業は第 14 週まで）			
4. 成績評価基準 （内容・評価の 観点・ウェイト 等）	授業態度・提出物 期末試験の評価 ※情報活用試験 3 級合格の場合、加点				20% 80%
	合計				100%
5. テキスト	「情報処理教育シリーズ IT 戦略とデータ利活用」（ウイネット） 「情報処理教育シリーズ システム開発技術と情報技術」（ウイネット） 「キタミ式イラストIT塾 基本情報技術者 令和 7 年」（技術評論社）				
6. 参考文献	「情報検定 情報活用試験 3 級公式テキスト」（実教出版）				
7. 履修上の 留意事項	自己都合により欠席した場合は、欠席時の授業のスライドを完成させ、テキストにも目を通して内容を把握しておくこと。				
教員実務経験	■有 □無				

2025年度 後期	学科・ コース	■IT スペシャリスト □情報メディア □医療秘書		□ビ実 □デザイン	
授業科目名	情報技術概論 A- II			教員名	吉岡 忍
対象学年	1	授業数	2/週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	ストラテジ（企業の情報システム戦略や IT 戦略）、及び、データベースに関する理解を深め、将来的に多方面で活躍できる IT エンジニアになるための基礎を身につける。さらに、資格試験の対策を通じてビジネスパーソンに欠かせない読解力を鍛える。				
2 . 科 目 の 到達目標	① IPA 認定講座である本講座を受講し、基本情報技術者試験の知識を習得し、IPA の提供する修了試験（基本情報技術者試験の科目 A 試験免除）合格を目指す ② 情報活用試験2級合格				
3. 科目の内容 （各週毎）	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	システム戦略② サービスマネジメント、システム監査 状態遷移図 法務と標準化② 法務と標準化③ アローダイアグラム応用、デシジョンテーブル応用 データベース応用① データベース応用② データベース応用③ 模擬試験（情報活用試験 2 級） 模擬試験（情報活用試験 2 級） 業務分析・データ利活用② 業務分析・データ利活用③ 企業会計応用 期末試験・期末課題提出（授業は第 14 週まで）			
4. 成績評価基準 （内容・評価の観点・ウェイト等）	授業態度・提出物 期末試験の評価 ※情報活用試験 2 級合格の場合、加点				20% 80%
	合計				100%
5. テキスト	「情報処理教育シリーズ IT 戦略とデータ利活用」（ウイネット） 「情報処理教育シリーズ システム開発技術と情報技術」（ウイネット） 「キタミ式イラスト IT 塾 基本情報技術者 令和 7 年」（技術評論社）				
6. 参考文献	「情報検定 情報活用試験 2 級公式テキスト」（実教出版）				
7. 履修上の 留意事項	自己都合により欠席した場合は、欠席時の授業のスライドを完成させ、テキストにも目を通して内容を把握しておくこと。				
教員実務経験	■有 □無				

2025年度	学科・ コース	■IT スペシャリスト □情報メディア □医療秘書		□ビ実 □デザイン	
前期					
授業科目名	情報技術概論 B- I			教員名	青木 貴宏
対象学年	1	授業数	1 / 週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	国家試験対策を通じて、幅広い分野の基礎知識を学ぶ。 主に開発技術・マネジメント全般についての理解を深め、将来的に IT を積極的に活用できる人材を目指すための基礎を身につける。				
2. 科目の到達目標	① IPA 認定講座である本講座を受講し、基本情報技術者試験の知識を習得し、IPA の提供する修了試験（基本情報技術者試験の科目 A 試験免除）合格を目指す ② 情報活用試験 3 級合格				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	オリエンテーション（自己紹介スライド作成・発表） システム開発技術① システム開発技術② システム開発技術③ システム開発技術④ システム開発技術⑤ システム開発技術⑥ システム開発技術⑦ システム開発技術⑧ ソフトウェア開発管理技術 プロジェクトマネジメント① プロジェクトマネジメント② プロジェクトマネジメント③ プロジェクトマネジメント④ 期末試験・期末課題提出（授業は第 14 週まで）			
4. 成績評価基準 (内容・評価の 観点・ウェイト 等)	出席率 授業態度 期末試験の評価			10% 30% 60%	
	合計			100%	
5. テキスト	「情報処理教育シリーズ IT 戦略とデータ利活用」(ウイネット) 「情報処理教育シリーズ システム開発技術と情報技術」(ウイネット) 「キタミ式イラスト IT 塾 基本情報技術者 令和 7 年」(技術評論社)				
6. 参考文献					
7. 履修上の 留意事項					
教員実務経験	■有 □無				

2025年度 後期	学科・ コース	■IT スペシャリスト □情報メディア □医療秘書		□ビ実 □デザイン	
授業科目名	情報技術概論 B- II			教員名	青木 貴宏
対象学年	1	授業数	1 / 週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	国家試験対策を通じて、幅広い分野の基礎知識を学ぶ。 主に開発技術・マネジメント全般についての理解を深め、将来的に IT を積極的に活用できる人材を目指すための基礎を身につける。				
2. 科目の 到達目標	① IPA 認定講座である本講座を受講し、基本情報技術者試験の知識を習得し、IPA の提供する修了試験（基本情報技術者試験の科目 A 試験免除）合格を目指す ② 情報活用試験 3 級合格				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	サービスマネジメント① サービスマネジメント② システム監査 システム企画 Excel 問題対策① Excel 問題対策② Excel 問題対策③ Excel 問題対策④ Excel 問題対策⑤ 過去問対策① 過去問対策② 過去問対策③ 過去問対策④ 過去問対策⑤ 期末試験・期末課題提出（授業は第 14 週まで）			
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウェイト等)	出席率 授業態度 期末試験の評価				10% 30% 60%
	合計				100%
5. テキスト	「情報処理教育シリーズ IT 戦略とデータ利活用」（ウイネット） 「情報処理教育シリーズ システム開発技術と情報技術」（ウイネット） 「キタミ式イラスト IT 塾 基本情報技術者 令和 7 年」（技術評論社）				
6. 参考文献					
7. 履修上の 留意事項					
教員実務経験	■有 □無				

2025 年度	学科・ コース	■IT スペシャリスト □情報メディア □医療秘書		□ビ実 □デザイン	
前期					
授業科目名	情報技術演習 I			教員名	尾崎 慎一
対象学年	1	授業数	2/週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	IPA 認定免除対象科目履修講座 情報活用検定(J 検)3 級の取得を目指す 試験問題による過去問演習(J 検、修了試験)				
2 . 科 目 の 到達目標	① 情報活用検定(J 検)3 級に合格する事 ② 修了試験の初級問題を解けるレベルに到達する事				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1 週 第2 週 第3 週 第4 週 第5 週 第6 週 第7 週 第8 週 第9 週 第1 0 週 第1 1 週 第1 2 週 第1 3 週 第1 4 週 第1 5 週	コンピュータ概論_1 章 コンピュータ概論_2 章 コンピュータ概論_3 章 コンピュータ概論_4 章 コンピュータ概論_5 章 コンピュータ概論_6 章 コンピュータ概論_7 章 コンピュータ概論_8 章 システム開発と情報技術_2 章(ネットワーク) 予備週 システム開発と情報技術_3 章(情報セキュリティ) 予備週 IT 戦略とデータ利活用_4 章(応用数学) 試験対策 1 試験対策 2			
4. 成績評価基準 (内容・評価の 観点・ウェイト 等)	授業態度 提出課題 期末試験(J 検 3 級合格者は免除)			30% 30% 40%	
	合計			100%	
5. テキスト	コンピュータ概論(ウィネット) システム開発と情報技術(ウィネット) IT 戦略とデータ利活用(ウィネット) キタミ式イラスト IT 塾(技術評論社)				
6. 参考文献	図解入門 TCP/IP 第二版(SB クリエイティブ)				
7. 履修上の 留意事項	各自、予習復習を行う事 課題プリントの提出期限を守る事 J 検 3 級合格者は期末試験を免除とする				
教員実務経験	■有 □無 資格: 安全確保支援士(合格)、応用情報技術者、セキュリティマネジメント、 JavaSE8Gold,Silver,Bronze、ディープラーニング G、Pyhon 基礎/応用、 LinuC1				

2025年度 後期	学科・ コース	■IT スペシャリスト □情報メディア □医療秘書		□ビ実 □デザイン	
授業科目名	情報技術演習Ⅱ			教員名	尾崎 慎一
対象学年	1	授業数	2/週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	IPA 認定免除対象科目履修講座 情報活用検定(J 検)2 級の取得を目指す 試験問題による過去問演習(J 検、修了試験)				
2. 科目の 到達目標	① 情報活用検定(J 検)2 級に合格する事 ② 修了試験の初級問題を解けるレベルに到達する事				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1 週 第2 週 第3 週 第4 週 第5 週 第6 週 第7 週 第8 週 第9 週 第10 週 第11 週 第12 週 第13 週 第14 週 第15 週	コンピュータ概論_1 章_2 周目 コンピュータ概論_2 章_2 周目 コンピュータ概論_3 章_2 周目 コンピュータ概論_4 章_2 周目 コンピュータ概論_5 章_2 周目 コンピュータ概論_6 章_2 周目 コンピュータ概論_7 章_2 周目 コンピュータ概論_8 章_2 周目 システム開発と情報技術_2 章(ネットワーク)_2 周目 予備週 システム開発と情報技術_3 章(情報セキュリティ)_2 周目 予備週 IT 戦略とデータ利活用_4 章(応用数学)_2 周目 試験対策 1 試験対策 2			
4. 成績評価基準 (内容・評価の 観点・ウェイト 等)	授業態度 提出課題 期末試験(J 検 2 級合格者は免除)				30% 30% 40%
	合計				100%
5. テキスト	コンピュータ概論(ウィネット) システム開発と情報技術(ウィネット) IT 戦略とデータ利活用(ウィネット) キタミ式イラスト IT 塾(技術評論社)				
6. 参考文献	図解入門 TCP/IP 第二版(SB クリエイティブ)				
7. 履修上の 留意事項	各自、予習復習を行う事 課題プリントの提出期限を守る事 J 検 2 級合格者は期末試験を免除とする				
教員実務経験	■有 □無 資格: 安全確保支援士(合格)、応用情報技術者、セキュリティマネジメント、 JavaSE8Gold,Silver,Bronze、ディープラーニング G、Pyhon 基礎/応用、 LinuC1				

2025年度 前期	学科・ コース	■IT スペシャリスト □情報メディア □医療秘書		□ビ実 □デザイン	
授業科目名	アルゴリズムⅠ			教員名	板橋 幹雄
対象学年	1	授業数	1/週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	一般的に「アルゴリズム」とは「問題を解決するための手順や計算方法」を指します。この講義においては、プログラミングの基本概念である変数・分岐・繰返し・配列、および、流れ図・疑似言語など基本アルゴリズムの知識習得を目指します。また、基本情報技術者科目Bに出題される問題を読み解く基礎レベルを上げる。				
2. 科目の 到達目標	① プログラムを理解し、その動きを流れ図で表記できる ② アルゴリズムの基本的な例題が理解できる ③ 疑似言語を理解し、流れ図から疑似言語へ変換できる				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	アルゴリズム概略 流れ図 ・流れ図の基本 ・変数と代入文 ・流れ図の解釈 流れ図の基本例題 ・評価を付ける処理 ・平均点等の算出 ・九九表作成 ・文字列の反転 ・配列へのデータ格納 ・2次元配列への集計 流れ図の実践問題 ・配列データの順位付け ・運賃/特急料金を求める 疑似言語 ・疑似言語の記述形式 ・疑似言語のデータ型 ・疑似言語の構造 ・大域変数と外部参照 期末試験			
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウェイト等)	出席率・授業態度 定期試験の評価			30% 70%	
	合計			100%	
5. テキスト					
6. 参考文献	「アルゴリズム解法 流れ図と疑似言語 第4版」 リックテレコム 「アルゴリズム×疑似言語 トレーニングブック」 技術評論社 「アルゴリズムのキホン」 SB Creative				
7. 履修上の 留意事項	アルゴリズムは、週1回の講義です。講義の積み重ねによって知識習得できるものです。欠席した場合は、必ず欠損講義内容を確認し、それを習得しておくこと。そして講義に出席しないと理解できなくなります。				
教員実務経験	■有 □無				

2025年度 後期	学科・ コース	■IT スペシャリスト □情報メディア □医療秘書		□ビ実 □デザイン	
授業科目名	アルゴリズムⅡ			教員名	板橋 幹雄
対象学年	1	授業数	1/週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	この後期講義においては、前期に学習した流れ図・疑似言語などの基本アルゴリズムより難易度が高いアルゴリズムの知識習得を目指します。多種多様なアルゴリズム例題を解き、知識の習得と実力を上げる。また、基本情報技術者科目Bに出題される問題が解けるように応用レベルを上げる。				
2. 科目の 到達目標	① 難易度のある基本例題を理解し解答できる。 ② 難易度のある応用例題を理解し解答できる。 ③ 基本情報技術者試験科目Bのアルゴリズムとプログラミングが解答できる。				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	前期復習 ソートアルゴリズムの種類 探索アルゴリズムの種類 疑似言語のパターン演習 疑似言語の基本例題 疑似言語の応用例題 期末試験	 ・処理手順 ・多重選択処理 ・繰返し処理 ・多重繰返し処理 ・最大公約数の算出 ・線形探索 ・バブルソート ・部分文字列の探索 ・マージソート ・ヒープソート ・クイックソート	・選択処理 ・文字のカウント ・2分探索 ・挿入ソート ・リストの作成 ・文字列検索	
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウェイト等)	出席率・授業態度 定期試験の評価			30% 70%	
	合計			100%	
5. テキスト					
6. 参考文献	「アルゴリズム解法 流れ図と疑似言語 第4版」 リックテレコム 「アルゴリズム×疑似言語 トレーニングブック」 技術評論社 「アルゴリズムのキホン」 SB Creative				
7. 履修上の 留意事項	アルゴリズムは、週1回の講義です。講義の積み重ねによって知識習得できるものです。欠席した場合は、必ず欠損講義内容を確認し、それを習得しておくこと。そして講義に出席しないと理解できなくなります。				
教員実務経験	■有 □無				

2025 年度	学科・ コース	■IT スペシャリスト □情報メディア □医療秘書		□ビ実 □デザイン	
前期					
授業科目名	プログラミング基礎 I			教員名	尾崎 慎一
対象学年	1	授業数	1 /週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	JavaScript の基本文法を学び、 それを使った Web アプリを作成する。 同時に、GitHubCopilot の使い方を習得する。				
2 . 科 目 の 到達目標	① JS の基本文法の習得 ② JS を使った Web アプリの作成 ③ GitHubCopilot の活用				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	つみトレ 1 章:VSCode 各種設定,Copilot の使い方 つみトレ 2 章:基本的なデータと計算 つみトレ 3 章:命令と条件分岐 つみトレ 4 章:少し高度なデータ つみトレ 5 章:処理を繰り返す つみトレ 6 章:関数を作る 課題 1(いきなりプログラミングより) つみトレ 7 章:オブジェクトをさらに理解する つみトレ 8 章:HTML を操作する 課題 2(いきなりプログラミングより) つみトレ 9 章:JavaScript の新しい構文 つみトレ 10 章:ドキュメントとエラーを読む 課題 3(いきなりプログラミングより) 自由課題 1 自由課題 2			
4. 成績評価基準 (内容・評価の 観点・ウェイト 等)	授業態度 期末課題の評価			50% 50%	
	合計			100%	
5. テキスト	JavaScript つみあげトレーニングブック(リプロワークス) いきなりプログラミング JavaScript(翔泳社)				
6. 参考文献					
7. 履修上の 留意事項	教科書を丁寧に進めていくので、各自予習をしておく事 課題の提出期限を守る事 期末試験は無しとする				
教員実務経験	■有 □無				

2025年度	学科・ コース	■IT スペシャリスト □情報メディア □医療秘書		□ビ実 □デザイン	
後期					
授業科目名	プログラミング基礎Ⅱ			教員名	尾崎 慎一
対象学年	1	授業数	1 /週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	前期の知識を応用し、シンプルなアプリを作る				
2. 科目の 到達目標	1, JS を使った Web アプリの作成 2, GitHubPages で作品を公開する				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	GitHubPages の使い方 いきプロ:Ch1_100 年おみくじ 課題制作 1 いきプロ:Ch2_自己 PR メーカー 課題制作 2 いきプロ:Ch3_接待 ox ゲーム 課題制作 3 いきプロ:Ch4_ダジャレ審議会 課題制作 4 いきプロ:Ch5_偉人なりきりメーカー 課題制作 5 いきプロ:Ch5_スイカ割り応援上映 課題制作 6 自由課題 1 自由課題 2			
4. 成績評価基準 (内容・評価の 観点・ウェイト 等)	授業態度 期末課題の評価				50% 50%
				合計	100%
5. テキスト	JavaScript つみあげトレーニングブック(リプロワークス) いきなりプログラミング JavaScript(翔泳社)				
6. 参考文献					
7. 履修上の 留意事項	教科書を丁寧に進めていくので、各自予習をしておく事 課題の提出期限を守る事 期末試験は無しとする				
教員実務経験	■有 □無				

2025 年度 後期	学科・ コース	■IT スペシャリスト □情報メディア □医療秘書		□ビ実 □デザイン	
授業科目名	ネットワーク・セキュリティ基礎			教員名	小川 孝志
対象学年	1	授業数	1/週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	ネットワークについてはベースである TCP/IP およびその TCP/IP 通信の流れを理解することを目標とする。ネットワーク技術の基礎を学びつつ、広く浅くではあるがネットワークセキュリティの脅威とその対策を概観する。				
2 . 科 目 の 到達目標	①基本のネットワーク機器とパソコンの接続設定ができる ②メールソフトの設定と安全な運用ができる ③セキュリティに配慮した PC、スマホ活用の意識付け				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	ネットワークセキュリティの概要理解 イーサネット規格、トポロジーの理解 OSI 参照モデルと各階層の役割の理解 ネットワーク設定の基本を理解 ネットワーク通信におけるプロトコル、IP アドレスの概要理解 ネットワーク通信におけるポートの概要理解 ルーターを利用したネットワーク設定の習得 1 ルーターを利用したネットワーク設定の習得 2 ファイアーウォールのしくみの理解 電子メールの仕組みの理解 電子メールのソフトの使用方法的の習得 電子メールを利用した脅威の概要理解 暗号化とデジタル署名の理解 無線ネットワークと関連セキュリティ			
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウェイト等)	出席数・態度 実習課題の評価				30% 70%
	合計				100%
5. テキスト	基礎から学ぶネットワーク（ウィネット）				
6. 参考文献					
7. 履修上の 留意事項	授業内での文言や単語の記憶や暗記ではなく、理解することを重視すべきなのでわからないところは授業後でも構わないので質問してほしい				
教員実務経験	■有 □無				

2025年度 前期	学科・ コース	■IT スペシャリスト □情報メディア □医療秘書		□ビ実 □デザイン																													
授業科目名	IT リテラシー			教員名	田中 良子																												
対象学年	1	授業数	1 / 週	授業形態	講義・演習																												
1. 科目の概要	学校生活に必要な基本的なパソコンスキルを学ぶ。また、メールの送り方やクラウドサービスの使い方など、社会に出てからも役立つ IT リテラシーを養う。																																
2 . 科 目 の 到達目標	① パソコンの基本的な操作を理解し、指示通り操作ができる。 ② クラウドサービスの特徴を理解し、ファイル操作等ができる。 ③ IT リテラシーについて理解し、セキュリティやモラルを遵守できる。																																
3. 科目の内容 (各週毎)	<table><tr><td>第1週</td><td>コンピュータの起動、基本操作、クラウドサービスについて</td></tr><tr><td>第2週</td><td>Gmail・Google カレンダー・Meet①</td></tr><tr><td>第3週</td><td>Gmail・Google カレンダー・Meet②</td></tr><tr><td>第4週</td><td>Google ドライブの使い方とドキュメントの共有方法</td></tr><tr><td>第5週</td><td>Google スライド、 Google スプレッドシート</td></tr><tr><td>第6週</td><td>Google マップ、Google フォト、Google フォーム</td></tr><tr><td>第7週</td><td>Google サイト</td></tr><tr><td>第8週</td><td>情報のセキュリティと情報モラル①</td></tr><tr><td>第9週</td><td>情報のセキュリティと情報モラル②</td></tr><tr><td>第10週</td><td>コンピュータの基本①</td></tr><tr><td>第11週</td><td>コンピュータの基本②</td></tr><tr><td>第12週</td><td>AI について①</td></tr><tr><td>第13週</td><td>AI について②</td></tr><tr><td>第14週</td><td>AI について③</td></tr></table>					第1週	コンピュータの起動、基本操作、クラウドサービスについて	第2週	Gmail・Google カレンダー・Meet①	第3週	Gmail・Google カレンダー・Meet②	第4週	Google ドライブの使い方とドキュメントの共有方法	第5週	Google スライド、 Google スプレッドシート	第6週	Google マップ、Google フォト、Google フォーム	第7週	Google サイト	第8週	情報のセキュリティと情報モラル①	第9週	情報のセキュリティと情報モラル②	第10週	コンピュータの基本①	第11週	コンピュータの基本②	第12週	AI について①	第13週	AI について②	第14週	AI について③
第1週	コンピュータの起動、基本操作、クラウドサービスについて																																
第2週	Gmail・Google カレンダー・Meet①																																
第3週	Gmail・Google カレンダー・Meet②																																
第4週	Google ドライブの使い方とドキュメントの共有方法																																
第5週	Google スライド、 Google スプレッドシート																																
第6週	Google マップ、Google フォト、Google フォーム																																
第7週	Google サイト																																
第8週	情報のセキュリティと情報モラル①																																
第9週	情報のセキュリティと情報モラル②																																
第10週	コンピュータの基本①																																
第11週	コンピュータの基本②																																
第12週	AI について①																																
第13週	AI について②																																
第14週	AI について③																																
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウェイト等)	授業中の課題 授業中の態度			30% 70%																													
	合計			100%																													
5. テキスト																																	
6. 参考文献	「基礎からわかる情報リテラシー」(奥村晴彦, 森本尚之, 技術評論社) 「Google Workspace 完全マニュアル」(桑名由美, 秀和システム) 「メディアリテラシー標準テキスト」(技術評論社) 「AI と社会」(技術評論社)																																
7. 履修上の 留意事項																																	
教員実務経験	■有 □無																																

2025年度 前期	学科・ コース	■IT スペシャリスト □情報メディア □医療秘書		□ビ実 □デザイン	
授業科目名	文書作成 B			教員名	松井 舞
対象学年	1	授業数	1 / 週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	Microsoft Office Specialist（MOS）試験科目のうち、「Word」に合格できる力を身につける。 さらに、試験合格だけではなく、素早い操作方法や便利な機能を修得することで、Word を使いこなす力・応用力を習得する。				
2 . 科 目 の 到達目標	① Word の基本的な機能の使い方を理解し、効率的な作業ができる ② Microsoft Office Specialist Word に合格できるスキルの習得 ③ 迅速かつ正確なタイピングスキルの習得				
3. 科目の内容 （各週毎）	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	基礎知識の習得 文書の管理 文字、段落、セクションの挿入と書式設定 表やリストの管理 参考資料の作成と管理 グラフィック要素の挿入 グラフィック要素の書式設定 文書の共同作業の管理 模擬問題① 模擬問題② 模擬問題③ 模擬問題④ 模擬問題⑤ 総復習 期末試験・期末課題提出（授業は第 14 週まで）			
4. 成績評価基準 （内容・評価の観点・ウェイト等）	出席・態度 定期試験の評価				30% 70%
	合計				100%
5. テキスト	「Microsoft Office Specialist Word365 対策テキスト＆問題集」 （FOM 出版）				
6. 参考文献					
7. 履修上の 留意事項					
教員実務経験	■有 □無				

2025年度 後期	学科・ コース	■IT スペシャリスト □情報メディア □医療秘書		□ビ実 □デザイン	
授業科目名	データ活用 B			教員名	松井 舞
対象学年	1	授業数	1 / 週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	Microsoft Office Specialist（MOS）試験科目のうち、「Excel」に合格できる力を身につける。さらに、試験合格だけではなく、素早い操作方法や便利な機能を修得することで、Excel を使いこなす力・応用力を習得する。				
2. 科目の到達目標	① Excel の基本的な機能の使い方を理解し、効率的な作業ができる。 ② 文書作成、書式設定、表の作成、参考資料の作成、図形の活用ができる。 ③ Microsoft Office Specialist Excel に合格できるスキルの習得。				
3. 科目の内容 （各週毎）	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	基礎知識の習得 ワークシートの管理 ブックの管理 セルやセル範囲のデータ管理 テーブルとテーブルのデータの管理 数式を使用した演算の実行 関数を使用した演算の実行 グラフの管理 模擬問題① 模擬問題② 模擬問題③ 模擬問題④ 模擬問題⑤ 総復習 期末試験・期末課題提出（授業は第 14 週まで）			
4. 成績評価基準 （内容・評価の観点・ウェイト等）	出席・態度 定期試験の評価				30% 70%
	合計				100%
5. テキスト	「Microsoft Office Specialist Excel 3 6 5 対策テキスト＆問題集」 （FOM 出版）				
6. 参考文献					
7. 履修上の留意事項					
教員実務経験	■有 □無				

2025年度 前期	学科・ コース	■IT スペシャリスト □情報メディア □医療秘書		□ビ実 □デザイン	
授業科目名	Web 制作基礎（エキスパート）Ⅰ			教員名	曾我 政年
対象学年	1	授業数	2/週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	Web 技術におけるデファクトスタンダード、HTML5 と CSS に関する基本的な知識と実装力を身につけながら、「Web クリエイター能力認定試験（エキスパート）」の取得を目指す。				
2. 科目の到達目標	① HTML と CSS の記述を理解する ② 「Web クリエイター能力認定試験（エキスパート）」の合格				
3. 科目の内容 （各週毎）	第1週 環境構築・HTML の基礎知識 第2週 データの使い方、基本的マークアップの記述 1 第3週 基本的マークアップの記述 2 第4週 基本的マークアップの記述（CSS 編）1 第5週 基本的マークアップの記述（CSS 編）2 第6週 HTML、CSS の復習 第7週 Web クリエイター教科書（第1章～第2章） 第8週 Web クリエイター教科書（第3章～第4章） 第9週 Web クリエイター教科書（第5章～第6章） 第10週 Web クリエイター教科書（第7章～第8章） 第11週 Web クリエイター教科書（第9章） 第12週 Web クリエイター教科書（サンプル問題） 第13週 エキスパート模擬問題(実習) 第14週 エキスパート模擬問題(実習) 第15週 期末試験・期末課題提出（授業は第14週まで）				
4. 成績評価基準 （内容・評価の観点・ウェイト等）	出席				30%
	授業中に行う課題の評価（練習問題）				20%
	Web クリエイターの試験合格 または 定期試験				50%
	合計				100%
5. テキスト	Web クリエイター能力認定試験 HTML5 対応 エキスパート 公式テキスト 発行：FOM 出版 Web クリエイター能力認定試験（HTML5 対応版）エキスパート 問題集 発行：サーティファイ				
6. 参考文献	なし				
7. 履修上の留意事項	Web クリエイター（エキスパート）に合格すれば期末試験は免除となる。				
教員実務経験	■有 □無				

2025年度 後期	学科・ コース	■IT スペシャリスト □情報メディア □医療秘書		□ビ実 □デザイン	
授業科目名	Web 制作基礎（エキスパート）Ⅱ			教員名	曽我 政年
対象学年	1	授業数	2/週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	AdobeXD によるサイトデザインを行い、それに基づいてサイトを制作する。				
2 . 科 目 の 到達目標	① レスポンシブデザインについて理解し、静的な Web サイトのデザインから実装までができる。 ② XD のワイヤーフレームから新たにサイトを作成できる。				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	イントロダクション・前期の復習 CSS flex の知識と実践 CSS gridlayout の知識と演習 CSS gridlayout の知識と演習 レスポンシブサイトの基礎知識 レスポンシブサイトの知識と演習 Adobe XD から Html と CSS をコーディングする① Adobe XD から Html と CSS をコーディングする② Adobe XD を使ったデザインカンブ作成① Adobe XD を使ったデザインカンブ作成② Adobe XD を使ったデザインカンブ作成③ 上記カンブからサイトを制作する 上記カンブからサイトを制作する 作品の講評 期末試験・期末課題提出（授業は第 14 週まで）			
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウェイト等)	授業課題の提出 期末課題				40% 60%
	合計				100%
5. テキスト	なし				
6. 参考文献	なし				
7. 履修上の 留意事項	やむを得ず欠席した場合は各自で欠席した授業の内容を確認しておくこと。				
教員実務経験	■有 □無				

2025年度 前期	学科・ コース	■IT スペシャリスト ■情報メディア □医療秘書		■ビ実 □デザイン	
授業科目名	プログラミング演習 I			教員名	北村 伸司
対象学年	1	授業数	4/週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	プログラミングの概念を理解し、条件分岐やループ処理などの基本的なステートメントの使い方を習得する。 制作するアプリケーションの仕様や完成イメージからシステム設計をすることができるセンスを養う。				
2. 科目の 到達目標	① システム全体の構成を考えることができるようになる ② 基本的なステートメントを理解し使用できるようになる ③ オリジナルアプリケーションを制作できるようになる				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	「フォーム」と「オブジェクト」の概念を理解する 変数の宣言とソースコードの書き方を理解する アニメーションの基本を学ぼう デバッグとエラー処理について If・SelectCase ステートメントなど基本構文を理解する If・SelectCase ステートメントなど基本構文を理解する 画像処理について Sub プロシージャと Function プロシージャの使い分けについて Sub プロシージャと Function プロシージャの使い分けについて システム設計の概念とは オリジナル作品のシステム設計をしてみよう オリジナル作品制作 オリジナル作品制作 オリジナル作品制作 期末試験・期末課題提出（授業は第 14 週まで）			
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウェイト等)	授業に取り組む姿勢や態度の評価				10%
	作品作りの前向きさや創意工夫の評価				25%
	課題作成・提出の評価				25%
	作品提出の評価				40%
	合計				100%
5. テキスト					
6. 参考文献					
7. 履修上の 留意事項	作品の良し悪しだけではなく「前向きな姿勢」や「発想力」を養うことも重要です。課題の提出時は「制作条件を守る」「提出期限を守る」など、当たり前のことをしっかりおこなってください。				
教員実務経験	■有 □無				

2025年度 後期	学科・ コース	■IT スペシャリスト ■情報メディア □医療秘書		■ビ実 □デザイン	
授業科目名	プログラミング演習Ⅱ			教員名	北村 伸司
対象学年	1	授業数	4/週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	プログラム全体の処理の流れを理解し、より効率的でエラーが発生しにくいソースコード、処理速度の速いソースコードを意識できるようになる。 グラフィック、サウンド、動画などの使用や外部ファイルへのアクセスの方法も理解する。				
2. 科目の 到達目標	① より効率的にプロシージャを使用できるようになる。 ② グラフィック、サウンド、動画などを取り込んで使用できるようになる。 ③ 納期を意識して計画的にアプリケーションを制作できるようになる。				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	複数のFormを使用したアプリケーションのメリット・デメリット ループ処理と無限ループについて ループ処理と無限ループについて 再帰処理とは 再帰処理とは マウスイベントの取得と利用方法 キーボードイベントの取得と利用方法 より効率的なエラー対策とデバック処理について インターフェイスのデザインと視認性、操作性について オリジナル作品のシステム設計 オリジナル作品制作 オリジナル作品制作 オリジナル作品制作 オリジナル作品制作 期末試験・期末課題提出（授業は第14週まで）			
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウェイト等)	授業に取り組む姿勢や態度の評価				10%
	作品作りの前向きさや創意工夫の評価				25%
	課題作成・提出の評価				25%
	作品提出の評価				40%
	合計				100%
5. テキスト					
6. 参考文献					
7. 履修上の 留意事項	作品の良し悪しだけではなく「前向きな姿勢」や「発想力」を養うことも重要です。課題の提出時は「制作条件を守る」「提出期限を守る」など、当たり前のことをしっかりおこなってください。				
教員実務経験	■有 □無				

2025年度 前期	学科・ コース	■IT スペシャリスト ■情報メディア □医療秘書		■ビ実 ■デザイン	
授業科目名	デザインリテラシーⅠ			教員名	小島 智子
対象学年	1	授業数	1 / 週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	Adobe Illustrator, Adobe Photoshop の基本操作を学ぶ デザインの基礎を理解する				
2. 科目の 到達目標	① Illustrator の基本的な操作ができる ② Illustrator を操作し、自身の名刺をデザインする				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 オリエンテーション 第2週 Illustrator の基本操作 第3週 Illustrator 簡単なイラスト制作 第4週 Illustrator ペンツールの操作 第5週 Illustrator ロゴ制作① 第6週 Illustrator ロゴ制作② 第7週 Illustrator 名刺制作① 第8週 Illustrator 名刺制作② 第9週 Illustrator 地図製作① 第10週 Illustrator 地図製作② 第11週 Illustrator ポストカード制作① 第12週 Illustrator ポストカード制作② 第13週 Illustrator ブログタイトル画像制作 第14週 Illustrator 自身の名刺制作 第15週 期末試験・期末課題提出（授業は第 14 週まで）				
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウェイト等)	授業中での課題の理解度 授業に取り組む姿勢				60% 40%
	合計				100%
5. テキスト	「これから始める Illustrator の本」（技術評論社）				
6. 参考文献	「レイアウト Illustrator 教室」（ワークコーポレーション） 「デザインのつくり方」（クリエイティブ）				
7. 履修上の 留意事項	高度なデジタルツールではあるが、操作に慣れることによって 意欲的にとりこんでほしい				
教員実務経験	■有 □無				

2025年度 後期	学科・ コース	■IT スペシャリスト ■情報メディア □医療秘書		■ビ実 ■デザイン	
授業科目名	デザインリテラシーⅡ			教員名	小島 智子
対象学年	1	授業数	1 / 週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	Adobe Illustrator, Adobe Photoshop の基本操作を学ぶ デザインの基礎を理解する				
2 . 科 目 の 到達目標	① Photoshop の基本的な操作ができる ② Illustrator, Photoshop を使った作品制作ができる ③ コンテストに応募し、入選をめざす				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	Photoshop の基本操作 カラーパネルについて、色彩の基本知識 Photoshop 写真補正① Photoshop 写真補正② Photoshop 写真加工① Photoshop 写真合成① Photoshop 写真合成② Photoshop ポストカード制作① Photoshop ポストカード制作② Photoshop ポストカード制作③ 自由制作およびコンテスト応募制作① 自由制作およびコンテスト応募制作② 自由制作およびコンテスト応募制作③ Illustrator, Photoshop のまとめ 期末試験・期末課題提出（授業は第 14 週まで）			
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウェイト等)	授業中での課題の理解度 授業に取り組む姿勢				60% 40%
	合計				100%
5. テキスト	「これから始める Photoshop の本」（技術評論社）				
6. 参考文献	「Photoshop よくばり入門」（インプレス） 「レタッチ・加工」（クリエイティブ）				
7. 履修上の 留意事項	高度で多種多様なデジタルツールではあるが、自分が活用できる技術を身に着けてほしい				
教員実務経験	■有 □無				

2025年度 後期	学科・ コース	■IT スペシャリスト ■情報メディア □医療秘書		■ビジネス実務 □デザイン	
授業科目名	ビジネスマナーと コミュニケーション			教員名	宇野 悦加
対象学年	1	授業数	1/週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	ビジネス社会において欠かすことのできないビジネスマナーと接遇、 コミュニケーション術を、具体的な事例と共に実践を交えながら学習する。 また、就職活動対策として、立ち居振る舞いや人前での話し方を体得する。				
2. 科目の 到達目標	① 就職活動、社会人必須の「基本的なビジネスマナー全般」「好印象を与える 話し方・言葉づかい」を身につける				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	自己紹介の仕方 第一印象の重要性と好印象を与える立ち居振る舞い 名刺の扱い方 敬語① 敬語② 電話応対 訪問時のマナーと席次 来客応対 好印象を与えるスピーチ 文書の書き方 仕事の正しい進め方 ビジネス敬語、電話応対問題集 ビジネス敬語、電話応対問題集 前期のまとめ 期末試験・課題提出（授業は第 14 週まで）			
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウェイト等)	出席と授業態度 定期試験の評価				40% 60%
	合計				100%
5. テキスト	「新秘書特講」（実務技能検定協会）				
6. 参考文献					
7. 履修上の 留意事項					
教員実務経験	■有 □無				

2025 年度 後期	学科・ コース	■IT スペシャリスト ■情報メディア ■医療秘書		■ビジネス実務 ■デザイン	
授業科目名	キャリアガイダンスⅠ			教員名	小山 久美子
対象学年	1	授業数	1/週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	自己分析を通して自己理解を深め、就職などの人生設計を考える。また、業界研究、企業研究を通じて働くことの意味、役割を理解する。				
2 . 科 目 の 到達目標	① 自分の長所、適性を理解する。 ② 就職活動の概要を理解する。 ③ 仕事（業種、業務）について研究する。				
3. 科目の内容 （各週毎）	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	キャリアガイダンスについて 働くことについて考える 就職（進路）希望調査 1 就職（進路）希望調査 2 自分について知る ジンチャレ活用 1（履歴書の書き方・県内企業への就職について） ジンチャレ活用 2（履歴書の書き方・県内企業への就職について） 企業説明会への参加 業界研究 1 業界研究 2 企業説明会・インターンシップについて 企業説明会への参加 企業研究 企業研究 期末試験・期末課題提出（授業は第 14 週まで）			
4. 成績評価基準 （内容・評価の観点・ウェイト等）	課題提出 授業姿勢 出席率			25% 25% 50%	
	合計			100%	
5. テキスト					
6. 参考文献	「ぎふ企業ガイドブック2025年度版」 「岐阜県就職情報誌 MY PLAN 2026」				
7. 履修上の 留意事項	自己都合により欠席や遅刻をした場合は必ず内容把握すること。PC 各自用意。				
教員実務経験	■有 □無				